

佳作

かわいしゅすけ

愛知県岡崎市立梅園小学校一年 林真緒

四がつ二十五にちすいようびに、かわいいおとこのこがうまれました。なまえはしゅんすけです。ママがよるごはんのグラタンをつくっているときに、ママのおなかがいたくなりました。おじいちゃんがママをびょういんにつれていきました。グラタンはおばあちゃんとおねえちゃんとたべました。ねるまえに、おとうさんから

「うまれたよ。」

とでんわがありました。

「やったあ。」

といいました。はやくあいたいな、とおもいました。つぎのひ、がっこうをやすんであいにいきました。あかちゃんはちいさくて、すやすやねていました。かわいくて、ないたらおでこがわしわになりました。かんごしさんといっしょに、あかちゃんにミルク

クをあげました。あかちゃんは、ミルクをチュツチュとのみました。うんちがくろくてびっくりしました。

ママとあかちゃんがびょういんからかえってきました。うちにあかちゃんがいるのがへんなかんじです。

「ママ、ほんとにあかちゃんうんだの？」

と、ママになんかいもききました。

「そうだよ、おなかがぺっちゃんこになったでしょう。」

とママがいました。ママのおなかをさわると、まだちよつとふくらんでいました。ふしぎだなあ、とおもいました。

おとうとは、まえよりむちむちになりました。ふとももがいちばんもちもちでだいすきです。おねえちゃんはほっぺがいちばんすきで、ママはくびのうしろがすきです。わたしがあそぶとすぐくわらいます。おとうとがわらうとうれしいです。

おとうとがないときは、わたしがかんがえたゆらゆらうたをうたいます。そうするとなきやみます。「まおちゃん、ありがとう。」

とママはいいます。「ありがとう」といわれると、

うれしいきもちになります。

おとうとがうまれて、ママはとてもいそがしくなりました。おとうさんは、かぞくにおとこのなかまができてうれしそうです。おねえちゃんは、おとうとのことがだいすきです。いちにちに二十かいくらい

「しゅんすけ、かわいすぎるー。」

といいます。わたしだけのおねえちゃんだったのに、おとうとにとられてくやしいです。でもしゅんすけはかわいいので、しかたないなあとおもいます。